

【世界史論述基礎講座】

世界史論述を課すあらゆる大学の志望者を対象に、論述問題への普遍的なアプローチを完璧に身につけることを最大の目標とします。論述問題の解き方の手順と頭の動かし方を理解し、実践演習と添削によって解答作成能力を養成することで、夏以降の過去問演習につながる指針を示します。

対象：60字以上の世界史論述を課す大学の志望者、具体的には

- ・東大，京大，一橋大，筑波大などの国公立大学の志望者
- ・早稲田大（法・商），慶應大（経済），明治大（政経），津田塾大，学習院大（文）など論述を出題する私立大学の志望者
- ・TEAPスコア利用型入試による上智大の志望者

※東京外大は、出題される論述字数自体は論述講座対象ですが、配点を考慮すると英語に勉強時間を費やした方が合格の可能性が高いと考えられます。受講を悩む場合は世界史科講師に相談してください。

※慶應大（法）は、今年度から入試で記述式を導入する旨が発表されています。サンプル問題が公表されていないためどのような出題が行われるか不明ですが、志望者は早稲田大（法）との併願も想定して、論述基礎講座を受講することを推奨します。

※本講座後に開講予定の「世界史論述応用講座」は、「基礎講座」を受講して得られる解法・知識、もしくはそれと同等の解法を習得していることと同等の学力を必要とします。原則として「基礎講座」とセットで申し込むべき講座ですが、どうしても事情により「応用講座」のみを申し込もうと考えている生徒は、必ず世界史科講師に相談してください。